

## 校内における支援体制の構築とチームによる支援

鹿屋特別支援学校 教諭 西育子

### 演習 I 【教研式知能検査「サポート」とNRT】

教研式川柳

教研式 5つのことが わかります

- (1) ISS 30以下なら 要支援
- (2) Aタイプ? はたまたB? それともB?
- (3) 知的機能 凸凹あったら 要精査
- (4) 知的作業 L5型には 要配慮
- (5) 能力の 発揮度示す O・U・B

#### 1 個別支援に生かそう

- (1) 知能 (学習ペース) → H/M/L
- (2) 知能タイプ(学習スタイル) → A/B
- (3) 知的機能 → 得意・不得意, 高低差 (認知5, 記憶2)
- (4) 知的作業 (課題解決スタイル) → L5 型
- (5) 知学相関(成就型) → OA/UA/BA

#### 2 事例 (1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 26, 27, 31 番に注目)

- (1) 3番 (Bタイプ, 機能が5~2まで幅広い, 新成就値はオーバー)
- (2) 26番 (Aタイプ, 機能の高低差あり)

【様式1】を使ってみよう

このクラス A型? B型? どっちかな?

#### 3 集団支援に生かそう ~UD支援を探ろう~

- (1) 学級の傾向 → 「I学習ペース」「II知能のタイプ」「III知学相関 (知能と学力の相関)」
- (2) 学級の傾向から考える基本的な集団支援

【様式2】を使ってみよう

ア 学習ペース(知能) のばらつきは必ずある。「学力という船からは誰一人として下ろさない」気持ちで配慮  
 イ 授業では集団支援の工夫を。授業はそもそも言語中心。視覚支援や具体物操作でBタイプに配慮。

ウ 集団支援の基本例 ①傾聴態度の確認

②短文話形(1文1動詞)での説明

③復唱要求

④学習動作の確認

⑤授業中断の回避(集中が切れ始めたら立つ活動の投入。協同学習スタイルの導入)

エ オーバーは頑張り過ぎ・過剰適応状態。課題量調節や丁寧な賞賛, 本人との面談で心理面に配慮。不登校等。

オ アンダーは実力が発揮しづらい状態。認知特性や家庭環境等, 本人だけで解決困難な要因もあり。要支援。

#### (3) 知的作業 (「IV課題解決スタイル」) から考える基本的な支援

ア L5型(慎重・悠長・緩行・準性急・性急)への支援

- ① なぜ遅い?
  - ・ 眼球運動, 短期記憶に課題? 集中できず遅くなる?
  - ・ 手先が不器用で早くできない, 遅くなる?
  - ・ 不安が強い, 間違えてないかと確認し過ぎて遅くなる?
  - ・ こだわりがあって遅い? マイルールがあって早くできない?
  - ・ 読み書きに課題があれば, 代替機器も検討する?
- ② なぜ不正確?
  - ・ 理解や記憶に課題。(聞くの苦手。難しい。覚えるの苦手。)
  - ・ 集中力に課題。(落ち着きかない。面倒~。ちゃちゃっと済ませたい! ケアミス多し)
  - ・ 短期記憶に課題。(眼球運動, 聴覚的短期記憶が苦手)
  - ・ 代替機器の活用で学習に集中できる? (読み書きに時間を取られない)

イ 効率型への支援

- ・ 授業に退屈しがちな“浮きこぼれ”タイプ。発展的課題や複数課題, 友達に教える役割を。

#### 4 その他

- ・ 検査は決められた方法で実施する。(1分なら1分で必ず終了。できれば二人体制で。補助の検査監督者も。)
- ・ WISCとの差が大きいこともある。なぜ? (WISCは個別式。個別に語りかけるように実施。そこの違い?)

活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 注視・注目	① 瞬間提示(今の指, 何本?)で注視を促す ② ささやき声での話しかけも注視効果あり ③ 着席できない子そのままにしておくのもあり。みんなが楽しそうにしているのを見て自然と座ることもある。 ④ 着席できない子を責めたり過剰反応したりしないよう「わかっているから大丈夫。みんなはこっちに集中！」等の言葉で周りの子への配慮も。
2 姿勢(着席)の確認	① 「足裏トントン 手はおひざ」「ちょこ・ぺた・ぴん」 ② シューズ・かかと・ひざの確認 ③ しばらく(5秒程度)は「手はおひざ」の姿勢保持
3 始めのあいさつ	① 声のボリュームの確認。大声・小声いろんな大きさであいさつ。 ② 「ボリューム0」(無声)も忘れずに確認・体感
4 目の体操	① 眼球ぐるぐる・寄り目や変顔, 顔エステ
5 姿勢(起立)の確認	① 椅子は静かにひくことを確認 ② サークルマットなどで立つ位置を示すことも ③ 立ったら脱力(肩の上げ下げ等)もして筋緊張と集中力の入りをアップ
6 朝のあいさつ	① お辞儀の仕方を確認。止める動作。斜め(角度)の感覚。 ② 「ボリューム0」などいろいろな声の大きさであいさつ。声の体験。 ③ 何人かの友達と挨拶させ、歩き回る場面を作る。
7 変身(バランス)	① 飛行機, 鳥, ロケット等の片足立ちで10秒~30秒 ② 「飛行機に乗って〇〇さんの家に行こう」 ③ うまくできない時は腰を後ろから支える。 ④ 「だるまさんが転んだ」系の体を止める動き, 正中線を超える動きも
8 朝の歌(手先, 腕)	① 歌に合わせて, グーパーや指合わせ ② ゆっくり行い, 握りしめる(力を入れる)動作を確実に ③ 手の甲を合わせる動きも大事。観察を丁寧に。
9 時間割の紹介 (触って当てよう)	① 今日のメインの活動で使う道具を, {はてなボックス}に入れておく。 ② 中の物を触ってあてる。触覚や集中力を高める。「硬いもの取って」等。 ③ 中の物を説明してもらうのもあり。言語力を高める。
10 時間割の紹介 (文字表記の間違い探し)	① 「たいいく」を「たいく」, 「にんじんスープ」を「にんじスープ」と書いたりして文字表記を意識。LD傾向の子は文字表記に混乱あり。 ② 様々な文字遊びの時間を確保。
11 ちょい遊び (ビジョン・トレーニング)	① マス・マグネット(視覚的短期記憶) ② 〇〇さんに電話(聴覚的短期記憶) ③ 紙コップシュート(協応動作)

演習Ⅲ【動画視聴】

NHK「ふつうって なんだろう?」(ご本人ナレーション2分間動画)

- #01 花緑さん(落語家 47歳)・・・ 読字が苦手
- #02 ユウさん(18歳)・・・ アスペルガー症候群
- #03 サトシさん(20歳)・・・ 会話が苦手
- #04 フミヤさん(27歳)・・・ 感覚過敏
- #05 ナオキさん(15歳)・・・ 聞くのが苦手
- #06 ユウセイさん(9歳)・・・ 怒りんぼ鬼
- #07 ユウスケさん(16歳)・・・ 書字が苦手
- #08 タカミさん(29歳)・・・ 歌が大好き